

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 3年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ニューサウスウェルズ大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 2月 26日 ～ 2018年 6月 28日 出国日 2018年 2月 14日 最終帰国日 2018年 7月 21日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

この留学で多くのことを得たが、その中でも3つ挙げると、踏み出す勇気、「なんとかなる」の精神、そしてキャリア形成の3つである。

1つ目が、踏み出す勇気だ。私はどうも人見知りをする性格で、留学先でもその悪いくせが出てしまい、そのせいで最初の1-2週間は友人が一人もおらず、クラスで孤立していた。そこで私は、勇気を振り絞って隣の学生に話しかけてみた。そうしたらどうだろう、どんどん友人が増え、授業でも助けてもらえ、遊びにいけ、様々なことができるようになったのである。つまり、一步踏み出せば多くのことができるようになり、逆に踏み出さなければその機会を逃す。私は、その一步を踏み出すことの大切さを学んだ。

そして、次が「なんとかなる」の精神。留学に出る前、英語は大丈夫か、授業についていけるか、生き抜けるかな、枕は合うかな、水はお肌に合うかしら、など多くの心配をしていたが、その心配は必要なかった。というのも、いざやってみるとどうにかなるものなのだ。だから自分になんとかかなると言い聞かせて、そんな心配をしている間に、挑戦するべきだと。そう学んだ。

最後がキャリア形成だ。私は三年生で来年就活であるため、キャリアについて考えなくてはならない。私は日本で就職して日本で生涯を終えようと考えていたのですが、インターンや社会人の方と話すうちに、働く場所は日本でなくともいいのではないかと思えるようになったのだ。今では、オーストラリアのビザをどうすれば取得できるのかを調べている。留学を通して将来のキャリアを考える良い機会となった。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感ずること

これは第一回報告書でも書いたことではあるが、中国語ができればよかったな、と思うシーンは多かったということだ。移民大国オーストラリアというわけで、街中だけでなく、大学内にはアジア、特に中華系の学生が多くいるのである。私が履修している管理会計のセミナーのメンバーが私以外全員中国、台湾人、先生までもが中国人だったほどである。他にも様々なイベントにおいても中国、台湾の学生に多く出会うのである。すると予想がつくだろうが、彼らは母国語である中国語等でコミュニケーションを取り始める。そうすると彼らとの共通コミュニケーション言語が英語しかない私は少しだけ疎外感を感じてしまうのだ。そこでもし、少しでも彼らの言っていることが理解できればもう少し仲良くできたのではないか、理解を深められたのではないだろうかと思ったのだ。しかし、使用される言語は英語であるべきであるし、中国語は意図された使用言語ではない。ただ、ここに来て初めてメイン以外の言語、つまり、第二言語を学ぶことの意義を実感した。なので、UNSW に限らず、オーストラリアへの留学を考えているその君余裕があるのなら中国語にチャレンジしてみよう。您坚持下去吧！

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

オセアニア地域大学ランキング 1 位だけのことはある。授業の質はかなり高く、教える教授陣もレベルが高い。つまり、授業の難易度も高い。さらに、学習院で 2 学期使ってやる内容を 1 学期で済ませるため、密度もすごい。何が言いたいかというと、一瞬でも気を抜くと授業に置いていかれるということだ。授業は予習、少人数のクラスも課題を済ませていることを前提で進む。テストでは学習院で通用していた小手先の技術は意味を成さない。勉強量が全て。

この大学は学びたいことが決まっているのならば、最高の環境を提供してくれる。しかし、適当な理由で軸を持たずに履修を決めると苦勞する。というのも、本大学はひとつひとつの授業のレベルが非常に高いため、自分でこれは得意だ、という科目を選んでいかないと厳しい。然もないと、私が出会った他大学の生徒のように単位を 3 つ落とす羽目になる。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

とりあえず、広い。学習院の 2 倍ほどはあったらどうか。そのため、教室移動が非常に大変で、10 分の休憩時間中に移動できないこともあった。

施設はかなり充実しており、全体的に綺麗。ただ、古い棟はトイレが便器のないものだったり、ゴキブリとクモの巣窟だったりする。(G がエアコンの吹出し口から降ってきたときは心臓が止まった。)しかし、大多数は新しい棟なので心配は不要だが、もしハズレを引いたら諦めよう。

そして、何と言っても、WiFi が全域で利用できるのには感動した。学習院の敷地より 2 倍近く大きいというのに全域で利用できるのである。なんなら門を出た後も接続できる。ぜひ、見習っていただきたいものだ。

そして、食事だが、フードコートが 4 箇所あり、世界各国の食事にあつつける。(日本食もあるし、レバノン料理までである)しかし、どうも値段が高く、1 食 15 ドルくらいする。そして、彩りが無い。どれも茶色く、緑を探すのに苦勞する。こんなものを毎日食べていては健

康に良くないし、財布にも良くない。なので、途中からは前日の残りをタッパーに詰めて持って行くようにしていた。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

開講されている可能性もあるが、受講していないため不明。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けイベントとして、授業開始の2週間前に留学生交流会が、1週間には全体に向けたオリエンテーションウィークがある。ここで部活に参加したり、友人をある程度作ったりできると好ましい。

生活面サポートは寮でないためあまりわからないが、家探しはFacebook コミュニティやオリエンテーションでサポートがある。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

半期の協定留学生に関しては得られる現地奨学金は無かった。

1年以上滞在する学生に対してはあるようだった。(詳細不明)

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

良い。周辺は住宅街。少し歩くと Randwick という町があるが、ショッピングモールとカフェがあるのみ。夜も安心して歩ける。強いていえば、Central や Townhall といった通学路に当たる町の中心部は酒場が多く、絡まれても無害ではあるものの、夜間は酔っ払い等が多いのであまり近づかない方が良い。さらに、夜間はどの店舗も警備員を配置しており、警察官も巡回しているので安心できる。全体的に良好。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

学生のほとんどがアジア人。キャンパスを歩いているとすれ違う3人に1人がアジア人。逆にアメリカ人やオーストラリア人などの白人の学生は意外にも少ない。

そして、Wi-Fi が学校全体を網羅していたり、コンセントがどこにでもあったりとパソコン等で課題をどこでもできた点も印象的。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
(8)	
(8)	

(8)	
(8)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 400AUD、(日本円) 約 35000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕)／自炊／その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 (電車)、計 90 分 (片道)

(5) 感想、良かった点・悪かった点

とても大きい家で快適で、ファミリーの方も優しく、食事は美味しい。最高の条件。しかし、大学含むシドニー中心部から遠いのが唯一の難点。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0、(日本円) 約 0 円 (協定留学につき)

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 50000 円 (マイルージ利用)

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1000 ドル、(日本円) 約 80000 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

- ・ 現金は両替しなくてはならないので面倒。
- ・ 現地ですぐに口座開設して、カードを作成すると楽。
- ・ キャッシュレス万歳

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳 利用していない。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険

(2) 保険料

110000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

U19 賠償・補償上限 1 億円。学部要件に合致したもの。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

一度もお世話にならなかったもので、わからない。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

サングラス、サンダル、水着、ジャケット上下、緑茶パック、味噌汁、サトウのごはん、梅干

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

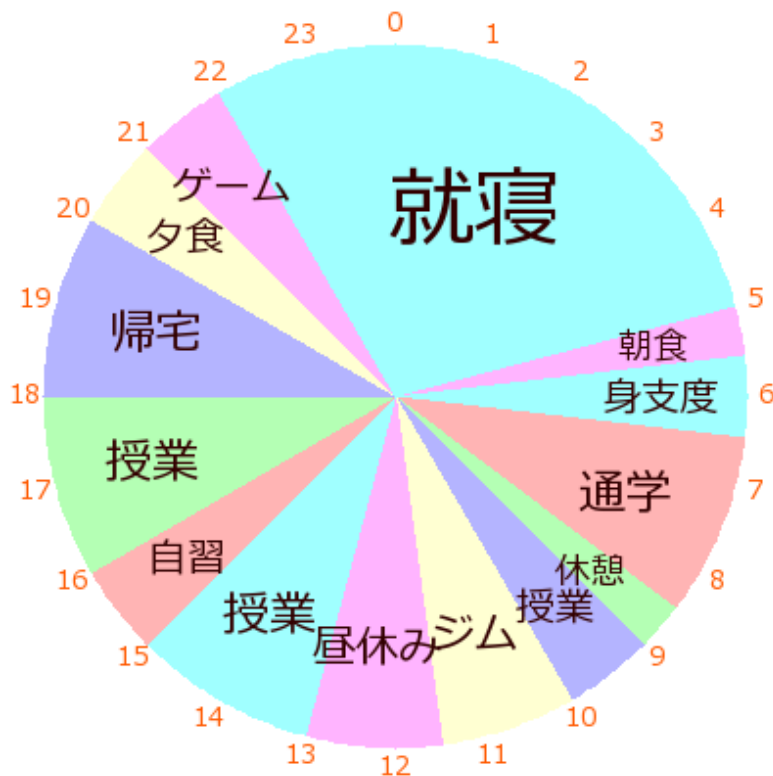
折り畳み傘等の雨具、風邪薬、電子辞書、学習院で使っていた教科書、世界の歩き方

(4) 持って行けば良かったと思う物

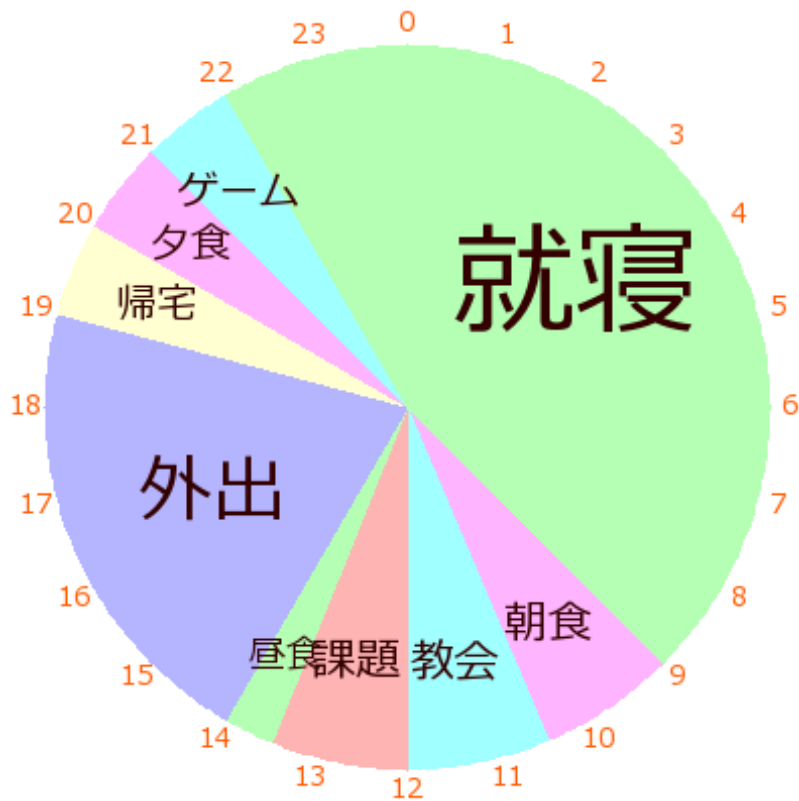
長袖、防寒具 (コート等) ←もし、休みにメルボルンやタスマニアに行くなら必須。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日



(2) 週末



8. 後輩へのアドバイス等

- ・友人が多く欲しいのならば、寮を選ぶ。
- ・実家暮らしと近い生活をしたいのなら、ホームステイ。
- ・履修は冒険しない、身の丈に合った選択を。
- ・授業は絶対に休まない。
- ・虫には触れない（3割が毒持ち）
- ・蛇にも触れない（全部毒持ち）
- ・長袖を忘れない。
- ・豪桜会にコンタクトを取る（重要）

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

特にはない。